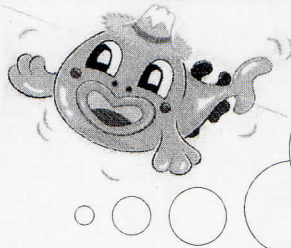


『講左衛門さん、今日は、写経の話をしてくれることになっているでまっすん。最近は100円ショップでも写経用紙が売っているでまっすん。手軽に気軽にしているものでまっすん?』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

☐癖 でまっすん…

『難しい質問だな・・・そもそも写経というのは、印刷技術が発展していない時代に、お釈迦様の教えを書いたものを経典というんじやが、その経典を書き写したことが始まりなんじやよ。また、膨大な経典を書き写すことは、とても大変な作業じゃからのう、精神を鍛えるための厳しい修行だったんじや。印刷技術が発展した現代、写経が一般的に知られるようになったのは、奈良県にある薬師寺元管主故高田好胤和尚の影響が大きいんじや。当時、薬師寺は、老朽化が進んで荒れるに任せた状態だったんじや。しかし、高田和尚は、薬師寺をこのままにしていけないと思い、副住職になると、修学旅行の生徒に分かりやすい法話をしたんじやよ。現在、薬師寺には、国宝の東塔を始め、昭和56年に復興された西塔は、高田和尚が写経を法話の中で勧めた集大成と言っても過言ではないと思うぞ。東塔の色鮮やかさは、万葉集の一説に「あおによし ならのみやこは さくはなの におうがごとく いまさかりなり」と読まれているんじやよ。平城京の華やかで荘厳な情景が浮かんでくるじやろ。さて、話が少しそれてしまったのう。インターネットで「写経」を検索すると、「リラックス効果」という文字が多いことに驚いたんじやが、本来写経は、一文字一文字に仏様を思うことが大切なんじや。その心が、尊く、功德を積むということに繋がっていくんじや。クニマッスンも疑問に思っているようじやが、手軽さや気軽さで始めるには安易かもしれんな。しかし、矛盾しておるかもしれないが、お経というのは不思議でな、繰り返しお唱えしたり、写経も書き続けると、何となくだがお経の意

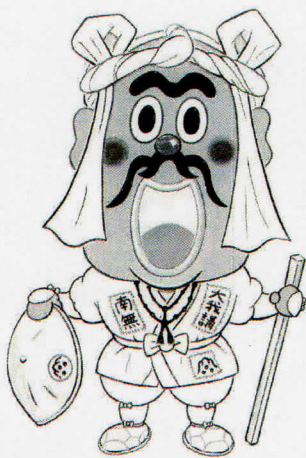
味が理解できるようになるんじやよ。したがって、手軽に気軽にしていけないということならないんじや。』

『奥が深いということではまっすん?一般的に写経というと般若心経を言うでまっすん。他にも写経できるお経はあるでまっすん?』

『天台宗では、「般若心経」と「七仏通戒偈・円頓章」と「山家学生式」があるぞ。それぞれ意味が違うからのう、興味があったら気軽に問い合わせしてほしいのう。最近では、写経と御朱印が同じような扱いを受けているように感じるぞ。大きな違いは、願意じゃ。写経の最後に「為」とあるんじやが、〇〇の為ということじゃ。願いを叶えるためには仏様のお

力が必要じゃろ。そのお力をいただくため納経料があるんじやよ。一般的は一巻千円じゃ。寺院によって異なるので確認が必要じゃぞ。さて、今回は、御朱印の話をしようと思っておる。知ると知らぬでは大違いじゃぞ。』

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定



ふじのだいがこうざ えもん
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは富士山案内責任者)